

例会報告：2017年5月16日（晴れ）

第1979回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2017年5月16日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



阿久津 馨 副会長（代読）

皆さん、こんにちは。本日は友好クラブの調査のため例会を欠席し、本日夕方6時より台湾の台北南山ロータリークラブの例会に、本多国際奉仕委員長以下7名にて出席してまいります。

各ロータリークラブでは、海外のクラブと「姉妹クラブ」、「友好クラブ」といった名称で長期的な友好関係を築いています。その主な目的は、国際親善と親睦活動の推進にあります。又、海外クラブと緊密な友好関係を築くことにより、共同で相手国あるいは第3国で世界社会奉仕活動に取り組む機会も生まれてきます。

台湾は非常に親日な国です。今回、訪問する台北南山ロータリークラブは、日本人、元米山留学生も多数在籍されており、日本語を公用語とし、2011年に誕生したクラブだそうです。設立大会の時には東日本大震災の義援金として500万円を贈呈されたロータリークラブです。すぐに友好クラブはないと思っておりますが、いろいろ学んできたいと思っております。

次週23日の施設見学会は、通常の例会を1時まで行い、出発となりますので、お間違いなきようお願いいたします。ありがとうございました。

❖ 幹事報告



櫻井 康二 幹事

- 1)本日は国際奉仕委員会の活動で、台湾に行かれています。
- 2)次週はこの会場で、卓話無しの例会を行い、バスにて施設見学会に行きます。

❖ 出席報告

櫻井 康二 幹事

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
5月16日	36(33)	21	7	82.35%
5月9日	36(34)	27	0	79.41%
4月25日	36(33)	25	0	75.76%

【欠席者】：14名

本多 純二、石崎 孝、杉崎 勝成、齋藤 永、辻村 彰秀、小川 和夫、露木 清勝、長田 英一、富田 浩一朗、内山 修一、木村 啓滋、上田 博和、大高 英之、大野 英明

【今回MU】7名

本多 純二・中村 維孝・石崎 孝、杉崎 勝成・齋藤 永・辻村 彰秀・小川 和夫（以上7名 台湾RC）

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

❖ 卓話

「地区協議会の報告」



小林 和彦 会員

先日、地区協議会の職業奉仕部門に出席してきましたので、ご報告させていただきます。4/16、14：20から約2時間、次年度副委員長の相模原RC・佐藤さんが司会で進行了しました。最初に山路パストガバナーから『職業奉仕の心』というお話があったのですが、その時は受付をやっていてきちんと聞けずに残念でした。次に現職業奉仕委員会副委員長の藤沢RC・長津さんが発表されました。本来はうちの石崎さんが委員長なので発表のはずでしたが、次年度会長ということでそちらに参加されていて、代理で長津さんがお話しされました。今年はプレゼンテーション用のパワーポイント資料を共通で使って、個々の説明をするというスタイルでした。しかし残念ながらPCの調子が悪くて思うようにプレゼンが出来なかったようです。半分くらい時間が潰れてしまっ、内容が上手く伝わらないハプニングがありました。

地区研修のメインは「次年度何をやっていくのか」だと思います。次年度委員長の藤沢RCの瀧澤さんがお話しされ、その時の資料がお配りしたものです。職業奉仕について色々考えるとどうしても哲学的な話になりがちで、この方の言葉をお借りすると『内向きの活動』ということになります。

今回瀧澤さんが捉えられているのは、RIがどういうことを言っているか文面を読み直し、その中で日本と世界は職業奉仕に対する感覚が少し違うということ。それがこういう部分で明確に説明されている、というプレゼンテーションでした。メインだったのは、今年1月の「ロータリーの友」65号に掲載された「職業奉仕はロータリーの根幹か」という記事、これを基に考えられたようでした。五大奉仕の中で職業奉仕以外は、クラブに対しての奉仕だったり、社会・世界・青少年と対象が明確になっています。しかし職業奉仕だけは対象が不明確だとRIでも問題になっているようで、2016年規定審議会で改正がありました。付け加えられたのが「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えること」です。では実際何をしていくか。瀧澤さんは考えるのではなく行動していくことをメインにやっていきたいと、実践例を出されました。歯科医師のロータリアンがカンボジアの山村で子供たちの歯科検診をした、震災時に水道工事のロータリアンが復旧作業をした、などの事例を勉強していこうと考えられているようです。海外では職業奉仕を「Vocation service」と呼びますが、Vocationは単なる仕事ではなく「天職」という意味になります。職は神から授かったもので一所懸命仕事をするのは当たり前で、それを踏まえて活動することが必要だと考えられているようです。なるべく実践的なこととして、一番考えているのは大和RCがなさった職業奉仕委員会の比較です。『様々な職業の方と語る会』で、ロータリアンではなく実際に現場で働く方が学生さんの前で仕事内容をお話しし、それに対して感想を書いてもらったのが1冊の本になっています。そういったことを次年度やっていきたいとのことでした。深く哲学的に考えず、とにかくやってみようよという方向です。最後に次年度副委員長の相模原東RC・佐藤さんがまとめられました。そこまでの話と反対に「やはり哲学的な話も大切だ。それは日本独自のものだ」という内容でしたので、来年は私がその間で挟まれることとなります。頑張りたいと思います。



須藤 公司 会員

幹事部門で参加してきました。まず幹事の仕事は何かという秦野RC・秋山リーダーのお話でスタートしました。会長のセクレタリーとしてのサポート、クラブで問題が起きた時の解決が大切な役目だと話されました。ホームページのマイロータリーの登録を勧めたいということも強く言われましたので、よろしくお願ひします。続いて相模原南RCの栗林さんからは、地区からの情報をメンバーに伝える役目もあり、素早く正確に伝えてほしいとのことでした。例会で2週連続の欠席者には必ず幹事が連絡する、1時間前には例会場で準備をする、幹事ノートを作ってメモを残しておけば役に立つ、といった話もありました。また会員増強は重要なので、年会費を下げる、夜間例会を増やす、などの話が出ました。今回、入会して2～3年で幹事をやる人が2割くらいいました。若い人も女性もいらしたので、当クラブもメンバーを増やして活力をつけていきたいと思ひます。

「イニシエーションスピーチ」



四方 智幸 会員

伝統ある小田原城北RCに入会し、半年が経過しました。昨年名古屋から小田原支店に転勤となり、前任の鈴木さんからの声かけでロータリークラブに入るようになりました。正直、ロータリー？何なの？と全く分かりませんでした。小田原で最初に行ったのが桜井塗装さんで、満面の笑みで桜井社長に迎えていただいたのです。本当に救われた気分でした。次に村瀬塗装さんに連れていかれて「村瀬さんの言うことを聞いていれば大丈夫だから」と紹介されて現在に至っています。最初はどのような目的で何をやるのか全く分からず、新興宗教やオカルト集団のようなイメージでした。半年やってこられたのは、とにかく例会に出て皆さんに顔を覚えてもらおうという気持ちでした。今後はロータリーのことを勉強しつつ、一人の人間として立派なロータリアンになっていこうと誓っています。私はサラリーマンなのでいつまで小田原にいるか正直分かりませんが、いる間は例会に必ず出席するつもりです。

改めて自己紹介をします。私は東京オリンピックの年に香川県高松市で生まれました。父が損害保険会社のサラリーマンで、小学校だけで5回転校しました。高松、広島、大阪、兵庫、京都、大阪と転勤に就いていったのです。高校は大阪の摂津で、一浪して立命館大学に入り経営学部経営学科で経営経済論を学びました。また中学からずっと卓球をやっていた学生時代です。昭和63年にみずほ証券のずっと前身になる新日本証券に入社しました。最初は北九州支店でそこで結婚し、新宿、福岡、横浜、新潟、尾道と家族と共に転勤してきました。これ以降は単身赴任で、八重洲本店、梅田、名古屋で営業部長をやらせていただき、小田原に来て半年になります。父は損害保険会社、兄は銀行で私は証券会社という金融一家です。家族は小倉出身の妻と大学1年の息子と高校1年の娘で、今は広島県福山市におり、私は1人でのんびり小田原暮らしを謳歌しています。色々な土地に行きましたが、小田原はなかなか商売がやりやすいところ。やりやすかったのはノリの良い梅田で、名古屋・小田原は投資に関して保守的な方が多い印象です。財布の紐が固く堅実な方が多いかと思ひますが、半年たってお客さまとの繋がりも深まってきて、これからかなというのが率直な感想です。

証券会社は株式・債券・投資信託が三本柱です。支店ではやはり販売で、販売手数料をいただくのが仕事です。今日午前中、株式市場は19,998円まで上がってきました。あと2円で20,000円です。非常に良い条件が揃っていますので、興味のある方はぜひともお声かけください。ヤフーが1997年に上場した時は1株190万円でした。今までずっと持ち続けていたら4億円になっています。楽天やセブン&アイ、ソフトバンクなども爆発的に大きくなりました。今のお勧めはLINEです。アメリカでも特殊半導体などの会社が伸びると思ひます。もっと詳しいお話しもできますので、どうぞみずほ証券をよろしくお願ひします。